

記者発表（ 発表 →資料配付）				
月／日	担当課(室)名 担当班名	電 話	発表者 (担当主幹名)	その他配布先
1／21 (火)	景観形成室 景観まちづくり班	内線 4660 078-362-9299	田野 万治郎 (高橋 安芸子)	阪神北県民局、東播磨県民局、 但馬県民局、丹波県民局

景観形成重要建造物の指定（第12次）について

兵庫県では、「景観の形成等に関する条例」（景観条例）に基づき、地域の良好な景観形成に重要な役割を果たしている建造物又は樹木（樹木の集団を含む）を、それぞれ「景観形成重要建造物」又は「景観形成重要樹木」（以下、景観形成重要建造物等という。）として指定する制度を設け、適切な保全及び維持管理を推進しています。

このたび、次の8件の建造物について、指定に係る所有者の同意を得るとともに、景観審議会（会長：鳴海邦碩大阪大学名誉教授）から指定が適当である旨の答申を受けましたので、本日付けで新たに景観形成重要建造物に指定します。

1 指定する建造物の一覧（概要は別添資料参照）

	名称	所在地
1	東多田 ^{むしやうあん} 夢勝庵	川西市東多田
2	前田家住宅	三田市屋敷町
3	多木 ^{たき} 化学本社	加古川市別府町緑町
4	多木 ^{たき} 浜洋館	加古川市別府町東町
5	大歳 ^{おおとし} 家住宅	加古川市別府町新野辺
6	大石家住宅	豊岡市但東町矢根
7	田治米 ^{たじめ} 合名会社酒造場	朝来市山東町矢名瀬町
8	西山酒造場	丹波市市島町中竹田

2 景観形成重要建造物等（建造物・樹木）の制度について

(1) 制度の目的・趣旨

地域住民に親しまれる貴重な景観資源の保全と適切な維持管理を図るとともに、住民の景観形成に向けた意識の高揚や活動の促進、景観を生かした地域の活性化等を期待するものです。

指定された建造物等については、その優れた景観が損なわれないよう、所有者等

に適切な維持管理に努めていただくとともに、外観について現状変更等を行う場合に届出を求め、必要な指導・助言を行います。

(2) 指定建造物等の選定の考え方

歴史的・文化的価値に加えて、ランドマーク・シンボル性、地域活動の拠点となっているなどの公共性・公益性を踏まえ、地域の景観形成への寄与の大きい建造物及び樹木を選定しています。

なお、指定文化財など、他の制度により保全のための厳格な規制や措置が講じられるものについては、指定の対象から除いています。

(3) 指定建造物等への支援

景観形成重要建造物等のうち民間所有のものについては、修景等を行う場合に、県が公益財団法人兵庫県まちづくり技術センターと連携して実施している「景観形成支援事業」により、設計費や工事費等の一部を助成（助成率1／3、助成限度額330万円（樹木については限度額30万円））しています。

(4) 指定状況

今回の8件の指定により、景観形成重要建造物等は102件（建造物94件・樹木8件）となります。

※制度創設以降、計98件を指定していますが、うち2件が市指定文化財、うち2件が景観法に基づく景観重要建造物となったため指定を解除し、これまでの指定数は94件です。

令和元年度 景観形成重要建造物 指定（第12次）一覧

地域	名称 (所在地)	概要	
阪神北	<p>東多田^{むしろうあん}夢勝庵 (川西市東多田)</p>	<p>江戸後期に建てられた、西村家の庄屋住宅。 長屋門と築地塀が、江戸後期に植えられたカイツカイブキや高さ20mの二本杉が育つ庭と主屋を取り囲み、規模の大きな屋敷の風格を今に伝えている。隣接する田畑とともに、地域の景観のシンボルとなっている。</p>	
	<p>前田家住宅 (三田市屋敷町)</p>	<p>大正後期に建てられた、前田氏の個人住宅。 複雑な屋根形状に赤瓦を葺き、半円アーチ窓を並べたスパニッシュスタイルが、良好に保存されている。阪神間で昭和初期に流行した様式の先駆的事例であり、武家屋敷群から近代的な住宅地への景観の変化を、特徴的に示した建物である。</p>	
東播磨	<p>多木^{たき}化学本社 (加古川市別府町緑町)</p>	<p>肥料・化学製品メーカー多木化学(株)の事務所として、大正初期に建てられた下見板コロニアルスタイルの木造事務所。 全面を黒く塗った外壁の四周に、社章である「神代鋤印」^{じんだいくわ}が白く描かれた個性的な外観を持つ。地域の発展を導いた企業のシンボルとして、創建時の姿をよく残している。</p>	
	<p>多木^{たき}浜洋館 (加古川市別府町東町)</p>	<p>多木製肥所（現多木化学(株)）の創業者が15年かけて昭和8年（1933）に建設した、木造4階建ての迎賓館。 建物全体を銅板で覆う外観から「あかがね御殿」と呼ばれ、独特の豪華絢爛さを有し、多様な様式を混交した他に例のない独特の景観を形成している。</p>	

(裏面あり)

東播磨	<p>おおとし 大歳家住宅 (加古川市別府町新野辺)</p>	<p>天保10年(1839)以前に建築された、大歳家の大庄屋住宅。 主屋の四周を長屋、長屋門、蔵、隠居部屋が囲んでいる。焼杉板と一部漆喰塗りの外壁や塀が街区規模の敷地を囲んでおり、住宅地開発が進む周辺地区の中で、江戸期に遡る建物群が一体的な景観を形成している。</p>	
但馬	<p>大石家住宅 (豊岡市但東町矢根)</p>	<p>矢根集落の中心となった大石家の分家が、明治から昭和初期に建てた庄屋住宅。 入母屋造の主屋の大屋根を築地塀が囲み、切妻造棧瓦葺の屋根と漆喰壁、板壁、築地塀が連続する屋敷構えは、明治初期以降の近代民家の形成過程と全体像を今に伝えるものである。</p>	
	<p>たじめ 田治米合名会社酒造場 (朝来市山東町矢名瀬町)</p>	<p>元禄15年(1702)創業の酒造家の酒造工場と住宅。 江戸後期の旧醤油蔵、明治・大正期の木造酒蔵、昭和期のRC造清酒工場などの施設群は、白壁で統一され、創業家住宅の板壁と赤土塗り壁とともに、酒造施設が地域を代表する景観の核を成している。</p>	
丹波	<p>西山酒造場 (丹波市市島町中竹田)</p>	<p>嘉永2年(1849)創業の酒造家の酒造工場と住宅。 明治期の主屋と昭和初期の塀が棧瓦葺き、腰板張り、漆喰塗りと連続して、歴史的景観を形づくっている。奥に建つ離れや酒蔵は歴史的要素を継承した統一された意匠を備えている。</p>	